

お子さんの視力検査の方法

(用意するもの)

1. 指標：同封の輪（ランドルト環といいます）をキリトリ線に沿って切り取り、20cm 四方位の白い紙に貼ります。（図1）
2. 眼帯：ガーゼまたはティッシュペーパーを5cm位の大きさに切って、ばんそうこうかテープでのぞかれないようにしっかりと貼ってください。
3. 距離を測るためのメジャー、ものさしなど。

(検査の方法)

1. らくに本が読める程度の明るい部屋で行います。
2. まず、練習をします。（無理強いせず行ってください）
 - ① 1m位離れて練習用の大きい輪を見せます。両目をあけて行います。
 - ② 切れ目の方向を指か手で示して答えさせます。

図2のような輪を厚紙で作ってお子さんに持たせ、輪の切れ目の向きを合わせる方法や、図3のような絵を描いた20cm四方位の台紙を作り、セロテープで軽くとめ、指標のみを回転させ切れ目の所にある絵を答えさせる方法でも良いでしょう。
 - ③ 切れ目の方向は、上・下・左・右の四方向とします。指標の向きを変えるときは、必ず1度指標を隠してから変えてください。
 - ④ 1m位でできたら、2.5m（できるだけ正確に測ってください）離れて行ってください。
 - ⑤ 両目を開けて、切れ目の方向を正しく答えられますか。
 - ⑥ 片目をかくす練習です。右目・左目をそれぞれかくして答えさせてください。
3. 検査をします。
 - ① 検査用の小さい輪を使い、2.5mの距離で行ってください。
 - ② 両目で検査します。上下左右の四方向見せて、三方向以上の正解で見えたとします。
 - ③ 左目をかくして右目の検査をしてください。見にくそうだったり、嫌がったりする時は左目から検査をしてください。両目の時と同じように判定します。
 - ④ 続いてかくす目を変え、左（または右）の目を検査します。
4. 両目・右目・左目それぞれの検査結果を問診票に記入して、健診会場にお持ちください。

図1 指標のみせ方

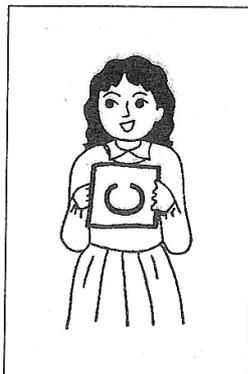


図2 切れ目の答え方



図3 指標の工夫

